

(案) 第23回

戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会 戦争遺跡の保存活用と地域をつなぐ平和活動

期日 2019年
8月24日(土)～26日(月)

場所 熊本市国際交流会館 (KCIC)
熊本市中央区花畑町 4-18
TEL:096-359-2020
URL:<http://www.kumamoto-if.or.jp/>

平成30年11月23日 熊本地震からの復旧が進む熊本城大天守閣

熊本は九州の中央部に位置し1871年鎮西鎮台の設置以降、熊本鎮台へ、1888年には対外戦争を想定した第六師団創設となり、熊本城を核として地域のなかに「軍都熊本」が形成されました。

1877年、国内最後の内戦である「西南戦争」では熊本城をはじめ、田原坂・高瀬・八代・人吉芦北・水俣等と、県内各地で戦闘が繰りひろげられました。熊本市北区植木町・玉名郡玉東町に残された官軍墓地や戦闘地域等は国史跡「西南戦争遺跡群」として指定され、近現代遺跡・戦争遺跡の調査保存や資料館展示を通し、行政民間が一体となってその活用が進められています。

いっぽう県内では、戦後50年の節目以降も、各地での平和展の開催や戦時体験を綴った記録・証言集、戦争世代から平和を願う子ども達への文集が刊行されてきました。戦後60年以降は、県内各地に残された太平洋戦争期の戦争遺跡の調査・研究や保存活動を行い、合わせて航空遺産をはじめとする戦時資料の調査や展示活動等を通して、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」が進んできました。

この活動は熊本・八代・玉名・菊池・荒尾・人吉球磨・合志地域へとひろがり、連絡会議「戦争遺産フォーラムくまもと」として、戦後70年「平和のバトン展」での地域展示や「米軍資料から見た熊本空襲」講演会開催へとつながりました。

今、熊本は地域に残された戦争遺跡に多くの方々の証言を得て平和を学び継承していく活動へと広がり、遺跡の一部は文化財としての保存活動が実現するなど活動が実を結んできています。

平成28年熊本を襲った未曾有の地震災害に直面し、隈庄飛行場油倉等の記録保存をはじめ、他の被害戦争遺跡・遺物の被災レスキュー活動等を進めるなかで、全国の皆様方にご支援をいただき、改めて全国との連携の大切さを知ることとなりました。

今回、熊本で初となる本シンポジウムの開催にあたり、全国の戦争遺跡の保存現状や課題を明らかにしていきます。また県民運動としての熊本に「戦争と平和のミュージアム」設立にむけ、平和博物館活動等を進めておられる皆様方と交流を深め、地域でつなぐ新たな平和活動として、設立に向け前進したいと願っています。

平成28年度熊本地震から復興しつつある熊本の姿を肌で感じていただき、さらなる「心の支援」の深まりを願い、当地熊本で全国大会を開催いたします。

主催 / 第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会・戦争遺跡保存全国ネットワーク

後援 / 熊本県 熊本県教育委員会 熊本市 熊本市教育委員会

熊本日日新聞社 R K K熊本放送 J C N熊本ケーブルネットワーク株式会社 ※予定

一日程

参加費：一般 1日 1,000円 学生 1日 500円

8月24日(土) 全体会・講演会 国際交流会館ホール 6・7階

I 全体会

受付 12:00～

全体集会 13:00～

記念講演 「熊本城と軍都熊本」 大阪大学名誉教授 猪飼隆明 氏

基調報告 戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表 出原恵三

地域報告 くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク代表 高谷和生

II 全国交流集会 18:00～ KKRホテル熊本



歩兵十三聯隊正門跡

8月25日(日) 分科会 国際交流会館会議室ほか

I 分科会 9:00～15:00

1分科会：第1会議室・4階「保存運度の現状と課題」

2分科会：第3会議室・4階「調査の方法と整備技術」

3分科会：大広間A・B・4階「平和博物館と次世代への継承」

図書交換会：2会議室・5階 ※10時～2時まで

II 閉会集会 15:10～16:00



歩兵十三聯隊食堂跡

8月26日(月) 現地見学会

Aコース(9時～12時半)

「熊本市内の戦跡をめぐる」熊本市立図書館2019夏の平和展「健軍飛行場(仮)」

歩兵十三聯隊食堂跡(現熊本学園大学第2体育館) 三菱重工業熊本航空機製作所第1組立工場跡

(現西部方面総監部九州補給支処) 義烈空挺隊慰霊碑 陸上自衛隊戦史資料室

Bコース(9時～15時)

「菊池飛行場と黒石原奉安殿をめぐる」旧陸軍傷痍軍人療養所再春荘留魂碑

旧逋信省熊本航空機乗員養成所奉安殿跡 菊池飛行場ミュージアム 菊池飛行場給水塔跡・油倉庫跡・格納庫跡



三菱重工業熊本航空機製作所第1組立工場跡



再春荘留魂碑



旧逋信省熊本航空機乗員養成所奉安殿跡

～講演者紹介～

いかい たかあき
猪飼 隆明 氏



福井県越前市(旧武生市)出身
熊本大学教養部教授、大阪大学文学研究科教授
2007年定年退官 名誉教授
『西郷隆盛—西南戦争への道』(岩波新書、1992年)
『熊本の明治秘史』(熊本日日新聞社、1999年)
『西南戦争—戦争の大義と動員される民衆—』
(吉川弘文館、2008年)



市指定文化財 菊池飛行場
「花房給水塔」



事務局連絡先

第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム

熊本大会実行委員会

事務局長 高谷 和生(たかたに かずお)

〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5

m-phone:090-1513-5528

23rd_kumamoto-symposium@googlegroups.com

https://kumamoto-senseki.net/

※JR熊本駅より
熊本市電で約15分
花畑町下車、徒歩約3分
※熊本空港より
九州産交バスで約45分
交通センター下車、徒歩約3分